

音楽ツールの変遷における考察

1, はじめに

街中や大学構内をふと見渡すと、イヤフォンやヘッドフォンをしながら行き交う人々の姿が必ず視界に入る。それ程音楽を「携帯」し、聴くことが当たり前になっている現在において、音楽を聴くためのツールがめまぐるしく変化した 1990～2000 年代を学生として過ごした世代が、どのようなツールで音楽を聴いているのか、また、どのような変遷を経たのか、当時の状況なども踏まえて論じていきたい。

なお、本レポートは、私と 4 人の友人たちの実体験をもとに考察した非常に限定的なものであり、必ずしも一般に当てはまるとは言えない。

2, 音楽ツールの変遷と考察

本レポートにおける調査対象者は表 1 の通りである。

表 1

	年齢	性別	楽器演奏経験	現在使用している音楽ツール
A さん	21 歳	女性	無し	携帯電話、トランスミッター
B さん	21 歳	女性	無し	WALKMAN、システムステレオ
C さん	21 歳	女性	無し	システムステレオ
D さん	22 歳	女性	無し	iPodclassic、PC、システムステレオ
筆者	21 歳	女性	有り	iPodnano、PC、トランスミッター

現在、私たちが主に使用している音楽ツールとして、iPod (nano, classic)・WALKMAN[注 1]・携帯電話・パーソナルコンピューター (以下 PC)・システムステレオ[注 2]・トランスミッター[注 3]の 6 つが挙げられる。

私を含む 5 人全員が、自分専用の音楽ツールを所有していた。B さんだけが家族と共用でシステムステレオを使用していたが、それぞれ専用の WALKMAN を所有しているようだ。C さん以外の 4 人は、ポータブルオーディオプレイヤー[注 4]を所有しており、音楽を個人で聴く傾向が強いことがわかる。もちろん車内やカラオケなどで他の人々と音楽を共有することはあるのだが、一人で聴くことが圧倒的に多かった。

このような傾向には私たちが実際に体験してきた音楽ツールの変化などが関係している

と考えられる。

幼稚園～小学校（1991～2002 年）

表 2[注 5]

	当時の所持 CD	当時の音楽ツール
A さん	「YELLOW YELLOW HAPPY」、「団子三兄弟」、「夜空ノムコウ」	CD ラジカセ（共用）、小学 6 年生頃に CD プレイヤー購入（専用）
B さん	「YELLOW YELLOW HAPPY」、「ポケモン言えるかな?」、「団子三兄弟」、「Boys&Girls」	CD ラジカセ（共用）
C さん	「YELLOW YELLOW HAPPY」	CD ラジカセ（共用）
D さん	「ガラガラヘビがやってくる」、「愛の言霊」、「ポケモン言えるかな?」、「団子三兄弟」	CD ラジカセ（共用）
筆者	「ガラガラヘビがやってくる」、「YELLOW YELLOW HAPPY」、「愛の言霊」、「ポケモン言えるかな?」、「団子三兄弟」	CD ラジカセ（共用）、小学 6 年生で CD プレイヤー購入（専用）、カーステレオ

この時期の前半は、まだ音楽嗜好が完成されていない上、居間などにある CD ラジカセと共有された空間、親の視線の下で音楽を聴いていた。当時の所持 CD と音楽ツールは表 2 にまとめた通りである。

小学校時代に所有していた CD を質問したところ、ほとんどがテレビとのタイアップものであり、シングルのみだった。ここで特徴的なのが、質問した 5 人がほぼ同じ CD を所有していたことである。同じ CD を所有していた原因として考えられる理由は、以下の 4 つである。

- ① 個人的な音楽嗜好が定まっていなかった。
- ② テレビという身近なメディアを通して、小学校でも共通の話題になりやすいアニメやドラマ、バラエティーの話が頻繁にされていた。
- ③ 1 家族に 2 台以上のテレビがあり、好きな番組を自由に見ることができ、影響をまともに受けた。
- ④ 共通の話題を持っていないと仲間外れにされるという、ある種の強迫観念が働いた。

テレビを通して音楽を聴いていた私たちにとって、1996 年以降、SPEED・モーニング娘。・浜崎あゆみなどの人気アーティストが次々デビューし、彼らがテレビに露出することで、曲だけでなく、アーティストに興味を持つきっかけにもなったと考える。

中学生（2002～2005 年）

表 3

	当時、好んで聴いていたアーティスト	実際に CD を買ったアーティスト	新しい音楽ツール
A さん	浜崎あゆみ、SMAP、安室奈美恵、ゆず、DREAMS COME TRUE	浜崎あゆみ、ゆず	1 年生でシステムステレオ、2 年生で CD プレイヤー（専用）購入
B さん	SMAP、ゆず、Every Little Thing、aiko	ゆず、Every Little Thing	2 年生でシステムステレオ（共用）、3 年生で MD プレイヤー（専用）購入
C さん	ゆず、福山雅治、Every Little Thing	福山雅治	3 年生頃にシステムステレオ（専用）購入
D さん	SMAP、宇多田ヒカル、Every Little Thing、Mr.Children、aiko	Every Little Thing、aiko	3 年生でシステムステレオと MD プレイヤー（専用）購入
筆者	ポルノグラフィティ、宇多田ヒカル、椎名林檎、BUMP OF CHICKEN	ポルノグラフィティ、宇多田ヒカル	2 年生でシステムステレオ（共用）3 年生で MD プレイヤー（専用）購入

この頃はお小遣いも少なく、CD を購入することは困難であったため、音源の確保はレンタルや友人との貸し借りが中心だった。

何故この方法が中心だったかという点、表 3 にまとめたように、システムステレオが普及したことで、CD を購入しなくても音源を自分の手元に残すことができるようになったからである。そのため、CD の購入等は相当好きな曲かアーティストに限られた。

曲だけでなく、アーティストにも興味を持つようになったためか、シングルよりもアルバムを購入・レンタルすることが多かったようだ。筆者以外は当時、好んで聴いていたアーティストが似たり寄ったりだった。これは、音源の確保がレンタルや友人との貸し借りが中心だったのが原因として挙げられる。

中学 2～3 年生頃になると専用の音楽ツールを全員持つようになるが、その理由は以下の 3 つである。

- ① 受験勉強のため、1 人でいる時間が増加した。
- ② 音楽嗜好が定まり始め、他人と一緒に聴くことが少なくなった。
- ③ 個人的な音楽嗜好を知られることは、心の内面を曝け出しているようで恥ずかしかった。

思春期に入ると、個人的な嗜好を公にする行為は気が引けた。本当に好きな曲やアーティストを知られるということは、性格や現在の心の状態を知られるとして、例えば家族でも 5 人全員が隠していた。他人が持つ、特定のジャンルに属するアーティストらに対しての偏見や独断が自らに当てはめられ、判断されることを防ぐためである。

上記のような理由が重なり、音楽を個人で聴く傾向が強まり始めたのが中学時代である。

高校生（2005～2008 年）

表 4

	当時、好んで聴いていたアーティスト	実際に CD を買ったアーティスト	新しい音楽ツール
A さん	安室奈美恵、GReeeeN、青山テルマ、嵐、コブクロ、倅田來未、ケツメイシ、EXILE、湘南乃風、FUNKY MONKEY BABYS、ゆず、ORANGE RANGE、AI、Crystal Kay、加藤ミリヤ、BENI	EXILE	高校 1 年生から携帯電話、高校 3 年生でカーステレオ、トランスミッター購入
B さん	GReeeeN、コブクロ、Aqua Timez、ケツメイシ、EXILE、湘南乃風、FUNKY MONKEY BABYS、ゆず、いきものがかり、aiko	EXILE	高校 3 年生で WALKMAN(専用) と専用システムステレオ(共用) 購入
C さん	絢香、ゆず、いきものがかり、福山雅治、HY、DREAMS COME TRUE	絢香、ゆず、いきものがかり、福山雅治、HY、DREAMS COME TRUE	なし
D さん	絢香、木村カエラ、YUKI、	YUKI、aiko	高校 3 年生で iPod

	aiko、レミオロメン、YUI、 FUNKY MONKEY BABYS、 GReeeeN、BLUE、ROOSTER、 SUM 41、Superfly		classic と PC (専用) 購 入
筆者	東京事変、一青窈、ポルノ グラフィティ、天野月子、 柴田淳、YUI、FUNKY MONKEY BABYS、GReeeeN、椿屋四 重奏、Cocco、Superfly	東京事変、一青窈、ポル ノグラフィティ、天野月 子、YUI	高校 1 年生で PC (共用)、 高校 2 年生で iPodnano、 高校 3 年生でトランスミ ッター購入

高校生になると、アルバイトなどで自由にできるお金や自分の時間が増えたこと、音楽嗜好の確立に伴い、好んで聴いていたアーティストの数は一気に増加した。だが、表 4 に示したように、ここで注目すべきは、好きなアーティストであっても、必ず CD 購買行動には出ているわけではないということである。

何故なら、CD を購入するよりも、インターネット[注 6]や携帯電話の普及・発展により、以前より安く、簡単に音楽を手に入れることができるようになったからである。気軽に音楽が手に入る環境が整い、CD 購買行動はさらに限定的になり、ほぼレンタルや配信サイトからのダウンロードで音源を収集している。高校生から現在までのスタイルはあまり変わっていない。

3, 終わりに

私たちは音楽を共有するが、自分専用の音楽ツールを早い段階で所持したことで、個人的に音楽を聴き、CD の不買傾向がみられた。これは CD を購入して、聴くことが廃れていつていることを示しているのである。

私たちの中で、音楽を聴く際に共通していたことは、通学中、読書中、食事中、運転中、など様々な場面で何かをしながら「聴いている」ということだった。家では点けっ放しのテレビ、街を歩いていても勝手に耳に入ってくる音楽たち、自分専用の音楽ツール、日常的に音楽が流れている事が当たり前の環境で育った私たちにとって、むしろ静かだと手持無沙汰で落ち着かないほど、音楽が生活に埋没しているのである。

最後になったが、多忙にも関わらず、本レポート作成に協力してくれた 4 人の友人たちに心から御礼申し上げる。

[注 1]

本レポート内の WALKMAN は内蔵記憶媒体がメモリーであるものを指す。(SONY 製 WALKMAN の S シリーズ)

[注 2]

SONY 公式 HP では CD+MD など、複数の記録媒体に対応した録音・再生機器を総じてシステムステレオと呼称していた。

[注 3]

車内のシガーライターが電源。ポータブルオーディオプレイヤーに入っている曲を車内で楽しむ。ラジオの電波を利用することでカーステレオ経由し、スピーカーから音が出る。

[注 4]

本レポート内では、音楽を携帯するという意味で、iPod (nano、classic)・WALKMAN (MP3)・携帯電話を「ポータブルオーディオプレイヤー」と区分する。

[注 5]

1992 年 とんねるず「ガラガラヘビがやってくる」：フジテレビ系『とんねるずのみなさんのおかげです』オープニングテーマ曲。

1996 年 ポケットビスケッツ「YELLOW YELLOW HAPPY」：日本テレビ系のバラエティ番組『ウッチャンナンチャンのウリナリ!!』から誕生したユニット。

1996 年 サザンオールスターズ「愛の言霊」：日本テレビ系ドラマ『透明人間』主題歌。1997 年 松本梨香「めざせポケモンマスター」：1997 年テレビ東京系列テレビアニメ『ポケットモンスター』主題歌。

1998 年 SMAP「夜空ノムコウ」27th シングル (Wikipedia SMAP 項より引用)

1999 年 速水けんたろう・茂森あゆみ・ひまわりキッズ・だんご合唱団「団子三兄弟」：NHK 教育テレビ『おかあさんといっしょ』内での曲。

1999 年 浜崎あゆみ「Boys&Girls」9th シングル (Wikipedia 浜崎あゆみ項より引用)

[注 6]

ここでいうインターネットとは Apple が運営している iPod シリーズ向け配信サービス「iTunes Store」のことである。

参考文献

- 1, 浅野智彦編集, 『検証・若者の変貌 失われた10年の後に』, 勁草書房, 2006年
- 2, 小泉恭子著, 『音楽をまとう若者』, 勁草書房, 2007年

参考Web

- 1, 淋しい熱帯魚のj-popブログ(2010年12月27日閲覧)
http://blog.livedoor.jp/jpop_miso/archives/2008-05.html
- 2, Wikipedia 日本語版「SMAP」「浜崎あゆみ」(2010年1月10日閲覧)
<http://ja.wikipedia.org/>
- 3, SONY 公式HP (2010年1月19日閲覧)
<http://www.sony.jp/>